

学校施設耐震診断状況一覧表

No.	学校名	建物区分	構造・規模等			建築年	耐震基準 ※1	診断年度	診断結果 (Is 値※2)	判定		備考
			構造	面積	階数					耐震性あり	耐震補強必要	
1	美和小学校	校舎	軽量鉄骨	295	1	平成 21 年	新	—	—	○		
		体育館	木造	182	1	昭和 36 年	—	—	—			
2	厚沢部小学校	校舎	鉄筋コンクリート	3,607	3	昭和 52 年	旧	H18	0.9 以上	○	1 次診断	
		体育館	鉄骨	713	1	昭和 49 年	旧	H21	0.28		○	
3	鶉小学校	校舎	鉄筋コンクリート	1,680	2	昭和 59 年	新	—	—	○		
		体育館	鉄骨	706	1	昭和 59 年	新	—	—	○		
4	館小学校	校舎	鉄筋コンクリート	1,957	2	昭和 58 年	新	—	—	○		
		体育館	鉄骨	712	1	昭和 58 年	新	—	—	○		
5	厚沢部中学校	校舎	鉄筋コンクリート	2,447	3	昭和 53 年	旧	H18	0.9 以上	○	1 次診断	
		体育館	鉄骨	911	1	昭和 54 年	旧	H21	0.38		○	
6	鶉中学校	校舎	鉄筋コンクリート	1,731	2	昭和 55 年	旧	H18	0.9 以上	○	1 次診断	
		体育館	鉄骨	777	1	昭和 56 年	旧	H21	0.56		○	
7	館中学校	校舎	鉄筋コンクリート	1,851	2	昭和 46 年	旧	H18	0.9 以上	○	1 次診断	
		体育館	鉄筋コンクリート	674	1	昭和 47 年	旧	H21	0.31		○	

※1 新：昭和 57 年以降に建築された校舎等で、建築基準法上の新耐震基準に適合しており、耐震診断、耐震補強工事等は不要。

旧：昭和 56 年以前に建築した校舎等で、建築基準法上の旧耐震基準にあたるもので、耐震診断により耐震性を確認する必要がある。

*対象建物・・・非木造施設：2階建て以上又は延べ床面積 200㎡以上の建物

木造施設：3階建て以上又は延べ床面積 500㎡以上の建物

※2 「Is 値」とは、「構造耐震指標」のことで、建物の耐震性能を表す指標です。

◆0.3 未満～大規模な地震に対し、倒壊または崩壊の危険性が高い。

◆0.3 以上 0.6 未満～大規模な地震に対し、倒壊または崩壊の危険性がある。

◆0.6 以上～大規模な地震に対し、倒壊または崩壊の危険性は低い。(耐震補強の必要なし)

ただし、学校施設については施設の特異性からより高い安全性が求められており、Is 値 0.6 以上であっても 0.7 未満の建物は耐震補強工事の対象となります。